



親子支援だより
ほっと通信



令和4年1月11日（火）浜松学院大学附属幼稚園
【心の相談員】中島祐子 【発行】橋本はるみ

♡「ホッとひと息」ついて、「ホッと安心」したり、「ホット（あたたか）な気分」に包まれますように…。
このおたよりは、日々大奮闘の親御さんへの心からのエールを込めて発行しています♡

（これまでのほっと通信は、園ホームページから読むことができます）

付属幼稚園の皆さま、新年明けましておめでとうございます♡

今年も、ほっと通信を通して、何気ない日常に隠されている心の機微について分かち合いながら、親も子も自分らしさを大切に生きる...というテーマを中心に据え、私なりのエッセンスを交えて綴らせて頂きたく、おつきあいの程よろしく願っています。

さて、子育て真最中の皆さんは、紅白歌合戦などは途中まで観たりするのでしょうか？

昨年末の紅白は、若者の紅白離れを何とかしまいか〜！という製作者側の意図が伝わるような人選でもあったように感じました。昭和〜平成〜令和...と3つの時代を代表する歌達を味わいながら、時代ごとの曲のテーマの大きな移り変わりを感しました。

とりわけ私にとって印象深かった曲は、歌手出身のアーティスト、初出場のまふまふさんによるカンザキオドリ氏作成の楽曲、『命に嫌われている』です。曲名からしてショッキングで、歌詞も曲調もかなり激しく痛々しい印象がありますが、若い世代から爆発的人气、共感、支持を得たボーカロイドの名曲とされています。もし、思春期に入った皆さんのお子さんが、「この曲が好き！お母さん聞いてみて〜！」って言ってきたら、どのような反応をされるでしょうか？

何を隠そう、私も娘からそう言われました！正直、まず曲名に「うっ」ときました！歌詞を聞いて、最初は暗澹たる思いになりました。しかし、私自身の思春期は、自分が拠りどころとしていたものについて、親に素直に「聞いて聞いて〜！」と言えなかったのも、とにかく、私から頭ごなしに否定される心配を持たずに発信してくれる娘からの信頼が嬉しくて、私なりに極力、この曲に惹かれた娘の想いに寄り添い、向き合いながら聴いてみようと思いました。

そんな思いで何度も聴いていくと、この曲は、混沌とした世情を生きる令和の若者達の葛藤や虚無感、生きづらさを代弁し寄り添ってくれる前半から、「君が生きていたならそれでいい。そうだ。本当はそういうことが歌いたい。」「それでも僕らは必死に生きて命を必死に抱えて生きて...生きて、生きて、生きて、生きて、生きる。」とあがきながら精一杯生きていく現代の若者達の存在そのものを包み込み、真摯なエールとともに力強く背中を押す後半へと導かれていく、「いのちの応援歌」なんだ！と感じられるようになったのです。第一印象だけで批判するような浅はかなことをしないで本当によかった...と気づかせてもらった曲でした。

ちなみに、個人的にはYOASOBIの『群青』が刺さりました！子育てのヒントもいっぱい！「知らず知らず隠してた本当の声を響かせてよ、ほら見ないフリしていても確かにそこにある」...子どもも大人も内なる本当の思いを安心して発信できる世の中になっていけるよう、まずは家庭から本音を認め合う文化を作っていけたら嬉しいですね♡

思春期に限らず、我が子からの発信に「うっ」と感じることも、アルアルですよ！この一年、我が子が心惹かれるものに「?!」と感じたら、そうだ！この子をもっと深く理解できるチャンス到来！そんな風に受け止めてみませんか？思いがけない素敵な景色を見せてもらえるかもしれませんよ♡

（心の支援、中島祐子）

「あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします」

皆さんは年末年始、どのようにして過ごしましたか？ 私はひたすら巣ごもり……。家の中でぬくぬくしておりました。こんな生活していたら仕事始めが辛いなあ……。と思いながらも、早起しなくても良い心地よさを味わっておりました。初日の出もきれいに見られたところでは見れたそうで、今年こそは新型コロナウイルスが収束し、今までに近い日常生活が送れることができますよう、ただただ祈るのみです。

年末、買い物に出かけるとチラチラと空から白いものが。静岡市でも初雪を観測したと聞いたのは次の日のニュースでした。雪が積もらないここ浜松。降ってもなかなか積もらない温暖な地域ですが十数年前、忘れもしない雪が積もり大変だったことを思い出します。普段は20分程で職場に着く道中が、前日からの雪が積もり交通渋滞。雪を甘く見ていました。普段と同じ時刻に車に乗り込み出かけたは良いのですが、全く進まずただひたすら動くのを待つしかない初めての事に戸惑いました。そうこうしているうちに何だかトイレに行きたくなり、今ここで離脱したら、この流れに戻れるとは思えない、かといって職場までもつか……。そんな葛藤をしながら、結局離脱することを選んだのですが、その後も全く進まず結局職場に着いたのが11時を過ぎたころ。20分の道のりが3時間半程の立ち往生。後にも先にも雪の影響で交通渋滞にはまったのはこれ1回。雪になれていない私には非常に堪えた出来事でした。その何年か後にも少し雪が積もった時に出勤した私は、渋滞を避けるために空いていたことをいいことに坂道を選び、(選んだ道が坂だったことを後で大いに後悔するのですが…)、慎重に降りていき後少しと言うところでスリップ。一瞬、頭の中が真っ白。パニックに陥ると思いきや何だか少し冷静だった自分がいて、ハンドルをきらずに止まりますようにと祈りながら軽くブレーキを何回か踏んでいました。側溝にタイヤをぶつけ、反転して停まり一安心。幸いだったのは対向車もなく自分の車が側溝にぶつかっただけで済みました。滑るのは目に見えて分かっていたのに何で坂道を選んだのか。ただ渋滞を避けただけで坂道を選ぶなんて本当に……。それからというもの、「雪が降ったら車の運転は怖いので休みます」と本気半分冗談半分で言い続けている私でした。今のところそのような状態にはなっていませんが……。

(橋本 はるみ)



～今月のほっと一言～

思春期の子が本当に大切なことを話してくれる親子関係は、幼い時期からの親への信頼感が土台となります。今年も、ほっと通信やカウンセリングを通して、親御さんの自分自身への温かなまなざしを育てていくお手伝いができたら...と願って止みません。

【1月のカウンセリング予定】

カウンセリング時間：1回50分

9時00分～10時00分／10時30分～11時30分／(お休み)／13時00分～14時00分

♡ 1月：6日(木) 7日(金) 13日(木) 14日(金) 20日(木) 21日(金) 27日(木) 28日(金)
(残りの枠は28日(金) 10:30～、13:00～となります)

【ほっと広場】(時間：10:30～12:30)

♡ 1月20日(木) (残り2枠あります)



◎カウンセリングは守秘義務を厳守します。(保育に関わること等は、保護者のご希望や必要性に応じて園教員と共有させていただく場合があります。その際はカウンセリング時にご意向をお伺いします。)

カウンセリングの対象は付属幼稚園の保護者となります。予約の際は、在園児保護者を優先しますが、空き状況により、未就園児活動に参加している保護者(当園に入園予定の方)と、当園卒園の保護者(卒園から1学期間に限る)を対象に、予約をお受けすることができます。また、未就園児のお子さんを連れてカウンセリングやほっと広場を利用する場合、託児を依頼することも可能ですのでご相談ください。(1回1,000円の実費)

：ご希望の方は園に電話(472-5193)で空いている枠をご確認の上、ご予約下さい。

：会議室で行います。前の方の面接中は、階段下でお待ち下さい。

：カウンセリングは無料です。